

### 1月5日(金) 穴川夜神楽

菊池の穴川菅原神社で、菊池市の無形民俗文化財にも指定されている夜神楽があり、大勢の人で賑わいました。毎年この日に行われているもので、高校生4人を含む地元保存会(緒方良利会長)のメンバー18人によって「神の舞」や「二剣の舞」など10座が次々と舞われました。

祭り終盤の「鬼神の舞」で、鬼の面をかぶった鬼神役の舞手が長さ約2メートルの太い青竹を持ちながらゆっくりと登場すると、泣き出す子どもも。

その青竹の先に付けられた御幣を取ると1年間の無病息災が約束されるとあって、観客は競って手に入れようと次々と鬼神に向かっていきました。ところが、鬼神も簡単には取られまいと、本気で青竹を振り回しながら払いのけ、鬼神と観客との御幣の奪い合いが繰り広げられました。

運良く奪うことができた人たちは、御幣をちぎって仲間と分け合い持ち帰っていました。



「鬼神の舞」で、御幣を先に付けた長さ約2メートルの太い青竹を持って舞う鬼神役の舞手

### 1月12日(金) 迎幸学園「伝統行事」で地域住民と交流

地域住民との交流、伝統行事を伝えていくことを目的に、知的障害者更生施設迎幸学園で「どんどこ」や「綱引き」などがありました。

これは、毎年恒例で行われているもので、園生と泗水西小学校児童、地域住民ら約140人が参加し交流を深めました。

同施設の職員と園生で半日かかって作った高さ10メートル程のやぐらは、火をつけると勢いよく燃え上がり、「バンバン」と大きな音を響かせました。

参加者は大きな火が舞い上がるのを見ながら、それぞれに今年1年間の願いを祈りました。

また、同施設の園生・職員チームと泗水西児童・地域住民チームに分かれて綱引きもあり、2対1で児童・地域住民チームが勝利しました。



園生・職員チームと児童・地域住民チームに分かれてあった綱引き

### 1月8日(月・祝) 第10回新春子ども囲碁・将棋大会

子ども囲碁・将棋大会が、旭志公民館(多目的研修センター)でありました。今回は22人(囲碁7人、将棋19人「一部重複」)の参加があり、白熱した試合を展開しました。

試合は囲碁・将棋ともトーナメント方式で行われ、更に、練習を兼ねて敗者戦も行なったため、子どもたちは大変喜んでいました。上位の成績は次のとおりです。(敬称略)

- |                      |                      |
|----------------------|----------------------|
| <b>囲碁の部</b>          | <b>将棋の部</b>          |
| <b>優勝</b> 石淵 秀(隈府小)  | <b>優勝</b> 渡辺一史(泗水中)  |
| <b>準優勝</b> 村上和貴(旭志中) | <b>準優勝</b> 中川勇樹(旭志中) |
| <b>3位</b> 増永悠里(七城小)  | <b>3位</b> 古田 潤(菊池北中) |



地域の人が見守る中、試合に挑む参加者

### 1月20日(土) 50年振りにどんどこ復活(加恵区)

七城町加恵区で約50年振りにどんどこがありました。

これは、地区公民館長の中村正継さんが伝統行事を伝えていくことを目的に呼びかけたもので、地区住民など約100人が参加し一年の門出を祝いました。

初めて体験する参加者は、バチバチと大きな音を立てながら燃え上がるどんどこに歓声を上げていました。

中村さんは「今後も、どんどこだけでなく、多くの地区住民と一緒に協力してたくさんの行事をしていきたいです」と抱負を話されました。



50年振りに復活したどんどこ

### 11月10日(金) 社会福祉法人紫翠会の川口理事長、全国社会福祉大会で会長表彰

このほど、厚生労働省などが主催する平成18年度全国社会福祉大会が東京・日比谷公会堂で開催され、永年にわたる社会福祉事業活動の功績を称え、社会福祉法人紫翠会(泗水町吉富)の理事長・川口陸奥男さんが全国社会福祉協議会会長表彰を受賞されました。

川口さん(川口病院院長)は、昭和47年4月社会福祉法人紫翠会を設立し理事長に就任。同年10月には救護施設「菊池園」を開設しました。以来35年間、さまざまな障害などで日常生活を営むことが困難な人々の支援に尽力されてきました。

今回の表彰は、このような社会福祉推進への貢献が顕著であると認められたものです。福祉関係の表彰は初めてという川口さんは「この受賞を機に、救護施設としての使命を果たすとともに、地域に根ざした福祉活動や事業への協力にいっそう努めたい」と抱負を述べられました。



全国表彰を受賞した川口さん

### 12月22日(金) 旭志中の生徒が一人暮らしのお年寄りに花配付

旭志中学校の生徒たちが、地元の70歳以上の一人暮らしのお年寄り94人に花を配りました。

旭志中学校で毎年恒例となっているもので、同校の生徒たちが種子から育てた花(桜草)は、プランターの中で青々と茂り、中にはつぼみをつけているものもありました。当日は天気にも恵まれ、全ての行事終了後、自治公民館長さんの指導のもと「いつまでもお元気で」などと書いたメッセージを携えて配布しました。

お年寄りたちは生徒たちからのプレゼントに「ありがとうございます」と心から喜んでいました。



旭志中の生徒たちから「桜草」を受け取るお年寄り

### 12月20日(水) 稗方菅原神社嫁とり祭り

菊池の稗方で嫁とり祭りがあり、地元区民などが参加しました。

毎年この日に行われているもので、五穀豊穡や縁結び、安産などを願う神事が稗方菅原神社で、嫁とりの儀式が座元の木村孝雄さん宅でありました。

嫁とりの儀式とは結婚式のことで、3メートル四方のわらで編んだ昔ながらのネコボクの上ですべて執り行われ、新郎役と新婦役、神主、仲人、巫女に扮した区民などが玉串奉奠や三々九度などの儀式を行ないました。

最後に神主が「式は滞りなく終わりました。ただし、この御婚儀はネコボクの上まででございます」と模擬結婚式だったことを告げ、集まった人たちの大きな笑いを誘っていました。



ネコボクの上で執り行われた三々九度の儀式

### 1月1日(元旦) 第35回旭志元旦マラソン大会

旭志総合支所をスタート・ゴールに、菊池市体育指導委員旭志支部主催による旭志元旦マラソン大会がありました。

コースは3キロと7キロの2コースで、小・中学生を中心に参加した157人は、1年の健康と繁栄を祈願し、元気に走り初めを楽しみました。上位の入賞者は次のとおりです。(敬称略)

- |                        |                      |
|------------------------|----------------------|
| <b>3キロコース</b>          | <b>7キロコース</b>        |
| <b>優勝</b> 富田克輝(泗水西小6年) | <b>優勝</b> 清水郭尋(大津町)  |
| <b>2位</b> 本田将磨(旭志小6年)  | <b>2位</b> 三木正明(菊池市)  |
| <b>3位</b> 富田翔太(泗水中1年)  | <b>3位</b> 大村岩四郎(菊池市) |
| <b>女子優勝</b>            | <b>女子優勝</b>          |
| 黒井沙也加(福岡県内小5年)         | 東 和代(菊池市)            |



旭志総合支所前を一言にスタートする選手たち